

神戸大学海事科学研究科博士前期課程中間発表プログラム

中間発表 (2010年4月8日木曜日)

第1会場 (2号館 305号教室)

講座副主任の挨拶と諸注意	08:50 - 08:55	
(1-1) 板倉 大祐 “Gd _{1-x} Eu _x OOHの結晶合成と蛍光特性評価”	09:00 - 09:15	(佐俣博章)
(1-2) 原 京太郎 “PVDFを用いたペロブスカイト型酸化物のフッ化と物性評価”	09:15 - 09:30	(佐俣博章)
(1-3) 堀 太一 “電気化学的な手法を用いた置換型酸化物の結晶合成と物性評価”	09:30 - 09:45	(佐俣博章)
(1-4) 濱中 敬司 “デローニ自動四面体要素に基礎を置く三次元移動有限要素法の開発”	09:45 - 10:00	(藤本岳洋)
休息 : 時間調整		
(1-5) 上森 佑太郎 “液体窒素用低温バルブの熱及び力学挙動に関する研究”	10:05 - 10:20	(福岡俊道)
(1-6) 上平 貴弘 “大型車用ホイールボルトの疲労強度評価”	10:20 - 10:35	(福岡俊道)
(1-7) 杉本 吉規 “多数ボルト締結体における弾性相互作用に関する研究”	10:35 - 10:50	(福岡俊道)
(1-8) 武田 洋輔 “有限要素解析によるねじ込みボルトとスタッドの力学特性の評価”	10:50 - 11:05	(福岡俊道)
(1-9) 松田 祐介 “界面の剛性を考慮した構造物の固有振動解析”	11:05 - 11:20	(福岡俊道)
(1-10) 宮本 和英 “チタン・チタン合金の接触熱抵抗の評価と数値シミュレーションへの応用”	11:20 - 11:35	(福岡俊道)

休息：時間調整

- (1-11) 清水 康平 11:40 - 11 :55
“ステレオ画像を用いた船舶等の検出および位置計測”
(山本茂広)
- (1-12) 中村 浩唯 11:55 - 12:10
“自律移動ロボットのための走行経路認識に関する研究”
(山本茂広)
- (1-13) 野村 康紘 12:10 - 12:25
“要所画像中のランドマーク自動認識による移動ロボットの自律走行に関する基礎的研究”
(山本茂広)

第2会場（2号館 306号教室）

- (2-1) 山根 洋 09:00 - 09:15
“沸騰伝熱促進に関する研究”
(福田勝哉)
- (2-2) 中西 哲也 09:15 - 09:30
“石炭油の燃焼による排出ガスの生成特性と低減策”
(藤田浩嗣)
- (2-3) 石田 和也 09:30 - 09:45
“重油燃焼のジメチルエーテルによる改善効果に関する研究”
(段 智久)
- (2-4) 宮脇 直也 09:45 - 10:00
“バイオ燃料のエマルジョン化による燃焼特性に関する研究”
(段 智久)

休息：時間調整

- (2-5) 里藤 裕隆 10:05 - 10:20
“高エネルギー中性子用電子式個人線量計の設計”
(小田啓二)
- (2-6) 金崎 真聡 10:20 - 10:35
“PADC飛跡検出器の基礎と応用”
(山内知也)
- (2-7) 前田 裕介 10:35 - 10:50
“イオン照射した固体飛跡検出器表面の親水特性評価”
(山内知也)
- (2-8) 佐々木 雄基 10:50 - 11:05
“NRBSによる種々の密度の Li_2TiO_3 の CO_2 吸収特性評価”
(古山雄一)

休息：時間調整

(2-9) 久保 隆祥 “超伝導MHD分離装置における特性改善の基礎研究”	11:10 - 11:25	(武田 実)
(2-10) 谷中 拓哉 “ヘリカル型海流MHD発電機内部の流速分布の測定”	11:25 - 11:40	(武田 実)
(2-11) 中本 雄也 “磁場中を流れる海水の電気分解の数値シミュレーション”	11:40 - 11:55	(梅田民樹)
(2-12) 門坂 紘典 “脂質二分子膜の三次元形状の数値解析”	11:55 - 12:10	(梅田民樹)

注) 中間発表を行う院生は当日8時50分に第1会場に集合する。原則として括弧内に記載した指導教員が司会を行うが、必要に応じて交代する。

発表時間10分、質疑応答5分（登壇交代時間等を含めて）とする。

第1鈴令（8分）、第2鈴令（10分）、第3鈴令（15分）とする。

両会場のプロジェクターは、最初に発表を行う院生の所属研究室で準備する。

パソコンについては「休息：時間調整」で区切られるブロック毎に同じものを使用するのが望ましい。

各自、円滑な進行に協力する。